



平成28年12月22日  
松ヶ崎小学校学校運営協議会  
広報委員会

## ～「土曜学習」とは～

年に数回行っています土曜学習は、子どもたちの学習意欲を高めたり、興味・関心を引き出して、調べる力や考える力、まとめる力の他に、話を聞く力や質問する力、感想や考えを言う力などを育んだりする機会としています。

学習活動においては、自然科学に関する学習や漢字検定に向けての学習を行うことを通して、学校教育目標の一つである「自ら主体的に学ぶ子」を育てていきます。

体験活動においては、活動を通して、地域との交流を深め、学校教育目標の一つである「地域を愛する子」を育てていきます。

今年も、諸団体や地域の皆様方のお力添えをいただき、「ホテルにつれられまち歩き」、「飯盒炊さんをしよう」、「防災体験交流会」、「松ヶ崎子どもフェスティバル」、「里山ウォークラリー」、「元素の話」を行ってきました。

そして、これからは、「お正月を楽しもう会」（平成29年1月14日）、「漢字教室」（平成29年1月21日）、「漢字検定」（平成29年1月28日）を行う予定です。

引き続きご協力をいただくこととなりますが、どうぞよろしくお願いいたします。

## 元素の話

12月17日（土）9:30～11:00 於：特活ルーム  
京都薬科大学名誉教授 元素周期表同好会  
薬学博士 桜井 弘先生



今年も、前学校運営協議会理事 北野正彦先生のご協力のもと、京都薬科大学名誉教授 元素周期表同好会 薬学博士桜井弘先生をお迎えして、土曜学習『元素の話』を行いました。

桜井先生をお迎えして、お話を聞くのは、今回で5回目になります。

保護者の方を含めた約40名の参加者は、4グループに分かれ、先生のお話を聞きました。そして、最後には、えれめんとランプを教わって楽しみました。



まずは、読書企画推進委員の方からの読み聞かせです。  
読んでいただいたのは「よだかの星」（宮沢賢治）  
宮沢賢治さんの図書もたくさん揃えていただきました。

### 桜井先生のお話は

「宮沢賢治とえれめんとランプ」

宮沢賢治さんとはだれだろう？

えれめんとランプを楽しもう！

「宮沢賢治さんを知っていますか？小学生の頃、みんなから『石っこ賢さん』と呼ばれていたのですよ。」と、桜井先生のお話が始まりました。

宮沢賢治さんは、岩手県の花巻市に生まれ、盛岡中学校、盛岡高等学校へと進みました。岩手山や小岩井農場がハイキングの場所で、石を拾ったり昆虫採取をしたりするのが好きだったようです。花巻市には、「宮沢賢治記念館」があるのです。（「お母さん行ってみたい。」との声が聞こえました。）

1896年（明治28年）～1933年（昭和8年）。37歳の時、結核でお亡くなりになりました。生まれた年にも、亡くなられた年にも東北で大地震が起こったそうです。今年は、生誕120年にあたります。

詩人であり童話作家である宮沢賢治さんは、数々の作品を残しました。そして、元素にも興味をもたれていました。

### ★「樫ノ木大学士の野宿」

宝石学の専門の大学士が上等のオパール採取を頼まれ、探しに行き、3夜野宿し夢を見る話。火山どうしが会話をするのを聞いたり、ジュラシックパークのように恐竜に出会ったりします。

### ★「十力の金剛石」

虹の脚元に見つかるといわれている宝石を捜しに行くアドベンチャー童話。虹を探す旅をして、空、太陽、風、花、自然がもっとも大切な宝石だったと知るお話。

### ★「かしわばやしの夜」

清作が仕事していると、画かきから呼び止められます。真似をして歌ったら気に入られ・・・。

### ★「銀河鉄道の夜」

少年ジョバンニが友人カムパネルラと銀河鉄道を旅する物語。  
この作品に出てくる鉱物は12種類、元素は10種類あるそうです。

### ★「星めぐりの歌」

「あかいいだまのさそり ひろげた鷺のつばさ あをいめだまの小さいぬ ひかりのへびのどくろ  
オリオンは高くうたひ つゆとしもをおとす アンドロメダのくもは さかなのくちのかたち  
大ぐまのあしをきたに 五つのぼしたところ 小熊のひたいのうへは そらのめぐりのめあて」  
星座が出てきます。

### ★「注文の多い料理店」

賢治27歳の時の作品です。

宮沢賢治さんの作品は、まだまだあります。「雨ニモマケズ」これは、亡くなる2年前に手帳に書かれたものです。みんなに読んでもらおうとは思ってはいなかったでしょう。

宮沢賢治さんの詩や童話を読んで、自然を見つめなおしてみましょう。また、みんなにとって、一番大切なことはなんだろうかと考えてみましょう。



そして、えれめんトランプを楽しみました。この学習に何度か参加している子ども達は、初めて参加する子ども達に教えます。

保護者の方も入っていただき、みんなで楽しみました。

そして、締めくくりは「元素のうた」。

2017年、元素の数は、4つ増えて(Nh、Mc、Ts、Og)、118個になるそうです。将来、松ヶ崎の子ども達が発見する可能性も！！



先生のお話が始まるや、メモをとる子ども達。

先生のお話の一つもこぼさずに聞こうとする熱心な姿に感心させられます。



何度もこの学習に参加している子ども達は、初めて参加する子ども達に教え・・・。

お忙しい中、教えていただきました 桜井先生 北野先生 ありがとうございます。  
読み聞かせをしていただきました読書企画推進委員の皆様ありがとうございます。  
そして、参加していただきました保護者の皆様ありがとうございます。



保護者の方も宮沢賢治さんの本に夢中になっておられました。

